

アッヴィ(ABBV)

【セクター】 バイオテクノロジー

【市場】 NYSE

【企業概要】

2013年にアボット・ラボラトリーズから分離した、バイオ医薬品大手。免疫疾患、腫瘍、ウイルス感染・C型肝炎、神経系が重点領域で、主力薬はリウマチ治療薬「ヒュミラ」です。2015年にファーマサイリック社を買収して血液がん治療薬「イムブルピカ」を獲得しています。また、19年6月にアイルランドの製薬会社で「ボトックス」など美容関連に特徴のあるアラガン社を約630億ドルで買収すると発表、来年初めに手続きを完了する見込みです。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	28,216	8,176	5.10	2.63	3.2	168.0	7.2
18年12月期	32,753	11,189	7.24	3.95	-5.7	-	-14.2
19年12月期予想	33,136	13,222	8.89	4.26	-2.1	105.1	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 主力薬の売上（18年）

製品名	用途	売上 (億ドル)	売上 構成比 (%)
ヒュミラ	関節リウマチ治療薬	199.4	60.9
イムブルピカ	血液がん治療薬	35.9	11.0
マヴィレット	C型肝炎治療薬	34.4	10.5

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 主なパイプライン（日本で申請中または第III相試験中）

物質名	適応症
ウパダシチニブ	関節リウマチ
アダリムマブ(ヒュミラ)	潰瘍性大腸炎
ウパダシチニブ	潰瘍性大腸炎
リサンキズマブ	クローン病
ベネトクラクス	慢性リンパ性白血病
ベリパリブ	非小細胞肺癌
ABBV-951	パーキンソン病

注：19年8月29日時点

(出所) 会社ホームページよりSBI証券が作成

【会社の見方】

売上の6割を占める「ヒュミラ」に関して、米国でバイオシミラー（バイオ医薬品のジェネリック薬）の発売が2022年末に見込まれています。これが同社業績の重大なリスクと意識されており、予想PERは主要なバイオ医薬品メーカーで特に低い一桁台に落ち込んでいます。この問題を解決する一つの方策としてアラガンの買収に踏み切ったと見られます。また、9/2（月）に米FDAの承認を取得した、中度から重度の関節リウマチ治療薬「ウパダシチニブ」は2023年の売上が21億ドルと見込まれていることが希望の光となっています。

【見通し・注目点】

4-6月期は主力薬「ヒュミラ」の減収を「イムブルピカ」などの増収で補って売上は前年同期比横ばいを確保、調整後純利益はコスト削減などで同6%増として、さらに発行済株式数を6%減らした効果で、調整後EPSは同13%増となっています。売上の6割近くを占めるリウマチ治療薬の「ヒュミラ」は米国売上が前年同期比8%増の一方、欧州でバイオシミラーが発売された影響で海外売上が同35%減となって、全体で同6%減少しています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/9/18)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。